

平成23年度関西地連大規模災害対策協議会主催 「広域連携図上演習」報告

平成23年12月6日(火) 10:30~16:40

じばさん三重 6階ホール
三重県四日市市安島1丁目3-18

参加72名（愛知県25名、岐阜県7名、三重県27名、
日本生協連・講師6名、三重県行政7名）
※愛知県は東海コープ事業連合8名を含む

時間	内容
10:30～10:40	開会挨拶、来賓紹介
10:40～11:00	ガイダンス:講師 坂本朗一(防災&情報研究所)
11:00～11:20	フェーズ1検討結果発表(三重県生協連)
11:20～12:20	シミュレーション訓練(フェーズ2前半:発災3日目)
12:20～13:10	昼食休憩
13:10～14:00	シミュレーション訓練(フェーズ2後半:発災4日目～5日目)
14:00～15:20	ワークショップ(各グループ別で検討課題まとめ)
15:20～15:35	休憩
15:35～16:40	各グループ別発表・質疑応答、講評、閉会



図上訓練のねらい

- ア 災害対応の問題点・課題の抽出
- イ 自治体と協定している応急生活物資供給に関する内容確認
- ウ 業務再開・支援に関する活動内容の確認
- エ 生協、事業連合、県連、日本生協連の連携の検証

訓練対象

- ア 東海・東南海・南海地震
- イ 12月6日(火)の午前11時発災
- ウ 震源は東海から南海沖、深さ20km、マグニチュード8.7
震度7(鳥羽市、田原市他)
- エ 神奈川県から九州にかけて広範囲で津波が発生
- エ 今後しばらくはマグニチュード7程度の余震がおこる可能性があり、
震源に近い地域では、最大震度6強程度の揺れになる恐れがある。

東海地区生協
大規模災害広域連携図上演習

愛知県連
対策本部G

愛知県
単位生協G

演習の振り返り

東海地区生協 大規模災害広域連携図上演習

ア グループごとに演習の反省と課題、改善点のまとめをおこない発表した。

イ 参加行政を代表して、三重県防災危機管理部の松尾康壽氏から「広域連携の重要性や 難しさと生協への期待」の言葉が述べられた。

ウ 講師である防災&情報研究所、坂本朗一氏からは「マニュアルの見直しも含めた役割分担、労務管理、先遣隊の役割など」の課題を指摘された。

エ 閉会のあいさつ、三重県生協連茂木専務理事から「本日の演習で課題が明確になった。物資の備蓄やマニュアルの見直しなど、今後の活動につなげていきたい。」

マスコミ取材

三重テレビ、中日新聞の取材があり、三重テレビは当日の夕方(17:30)のニュースで、中日新聞は12/7朝刊の三重版で掲載された。

